

仙台の動物園

仙台市博物館 学芸普及室 阿部 さやか

第5回

仙台で最初の動物園

夏休みに入り、観光地では家族や友人と過ごす人の姿が多く見られます。今回は、仙台でも人気の観光地のひとつである動物園の歴史について紹介します。

仙台で最初の本格的な動物園は、昭和十一年（一九三六）に評定河原（青葉区花壇）に開園した、市営の「仙台市動物園」でした。園内には、東京浅草の花屋敷から一括購入したゾウやホッキョクグマなど三十五種、約百点を含む多くの生き物が飼育されていました。当時、東京以北では初めてとなる大型の動物園で、毎年二十万人ほどが訪れたといえます。

しかし、太平洋戦争がはじまると運営が厳しくなり、昭和十九年（一九四四）九月に閉鎖、翌年七月には仙台空襲の被害を受け、そのまま閉園となりました。

三居沢の子供動物園

昭和三十三年（一九五七）、仙台市は三居沢（青葉区荒巻）に広さ約六六〇〇㎡の「子供動物園」を開園します。園内には豆電車、豆自動車などの遊具もあり、

八木山と八木久兵衛

子供たちの人気を集めました。開園当初、ライオンやシカのほかに小動物の飼育が中心でしたが、後にクマやゾウなどの大型獣も受け入れられました。園内が徐々に手狭になると、地勢や立地条件も考慮したより広い敷地への移設が検討されます。そこで候補地となったのが、現在の動物園がある八木山（太白区）でした。

八木山付近はかつて越路山と呼ばれていましたが、大正年間に実業家の八木久兵衛が所有したことをきっかけに、現在の地名で呼ばれるようになりました。八木は私財を投じて八木山に公園や野球場を整備し、昭和九年（一九三四）に仙台市へ無償譲渡しました。「八木山動物公園」は譲渡された土地の一部である、総面積約十五万㎡の広大な敷地に造営されました。現在の動物園のコーナーである「アフリカ園」は、かつての野球場の面影が残っています。

八木山動物公園の開園

八木山動物公園は、自然をできるだけ残すこと、「無柵放養式」展示（堀や塀で空間を区切るなどして、柵などの遮蔽物を使わずに生き物を直接鑑賞できる展示）を基本構想に造成されました。昭和四十年（一九六五）九月には三居沢の子供動物園から動物たちが移され、同年十月に開園しました。

平成二十七年（二〇一五）十月には開園五十周年を迎え、入園者数は延べ二六〇〇万人を超えました。同年十二月に市営地下鉄東西線が開通し、動物公園へ直結する「八木山動物公園駅」も開設され、ますます身近な動物園として親しまれています。



写真 仙台市八木山動物公園の開園日 昭和40年(1965)10月15日 (資料提供:仙台市戦災復興記念館)

仙台市史 全32巻

原始から平成元年までの仙台の歴史をわかりやすく紹介!

「通史編」のほか、古代から現代までの歴史資料で構成される「資料編」、特定のテーマを詳しく掘り下げた「特別編」、「年表・索引」があります。



ピックアップ紹介



資料編7 近代現代3 社会生活

A5判/610ページ 4,191円(税込)

明治時代から現代までの社会の変遷と、市民生活のようすを資料で紹介しています。

「VIII 憩いと娯楽」では、上記で取り上げた動物園の歴史についても、関連する新聞記事などを掲載しています。



既刊紹介や購入方法は博物館ホームページでご案内しています

仙台市博物館 SENDAI CITY MUSEUM

▶博物館ホームページ ▶博物館ツイッター

仙台市博物館 @sendai_shihaku

▶お問い合わせ 〒980-0862 仙台市青葉区川内26番地(仙台城三の丸跡) TEL:022-225-3074 8:30-17:15 ※土・日・祝休日を除く

※当館は現在、大規模改修工事のため休館しています。令和6年4月に再開予定です。